

瓦にみる歴史の舞台展 ◆

■開催期間 6月9日(土)～7月8日(日)

日本最古の瓦葺建築である飛鳥寺をはじめ、古代の都・平城京や平安京、大仏殿の東大寺、院政期の六勝寺など日本史上重要な舞台となった場所で実際に使われていた瓦を、そのエピソードとともに紹介します。

関連
行事

①ギャラリートーク(予約不要)

とき 6月17日(日) 午後2時～

②レクチャータイム「古代瓦にふれる」

とき 6月24日(日) 午後2時～

募集 20人(電話にて申込受付中)

内容 古代瓦の魅力を、学芸員の説明とともに実物を間近に見ながら味わう

同時開催企画展 日中国交正常化40周年記念事業

私の八月十五日展～漫画家・作家たちの絵手紙 ◆

■開催期間 6月9日(土)～7月1日(日)

日本漫画事務局「八月十五日の会」に参加する日本の代表的な漫画家・作家が、自身の昭和20年8月15日の記憶を、イラストや絵手紙で紹介する展覧会です。会の代表を務める森田拳次をはじめ、水木しげる、手塚治虫、ちばてつや

など、総勢127人の作品を展示します。

作品を通して戦争について、平和について、改めて考えていただける機会となれば幸いです。

JAGDA愛知展 カワラで鬼ごっこ ◆

■開催期間 6月9日(土)～7月8日(日)

高浜市では高浜のじまんをつくろう! を合い言葉に、まちを活性化しようと盛り上がっています。それにあわせて、高浜をさらに多くの人々にアピールできるよう、「鬼瓦」をテーマとしたグラフィック作品の展覧会を行います。

普段見慣れている「鬼瓦」。デザイナーの視点から見つめなおすことで発見される新しい表情をお楽しみください。

関連
行事

●出品デザイナーたちによるギャラリートーク

とき 7月1日(日) 午後1時～2時30分(予約不要)

講師 JAGDA(社団法人日本グラフィックデザイナー協会)愛知出品作家

内容 出品デザイナーたちが作品に対する想いを解説。各デザイナーの仕事内容や、デザインのおもしろさを紹介します。

観覧料 高校生以上200円(160円)、中学生以下無料(3つの企画展の共通観覧券)

※()内は高浜市内居住者および20人以上の団体料金。

※関連行事は参加無料。ただし、ギャラリートークは当日観覧券が必要。

休館日 月曜日 観覧時間 午前9時～午後5時(観覧券の販売は午後4時30分まで)

問合せ先 高浜市やきものの里かわら美術館 ☎52-3366

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んで下さい!

広報 たかはま

編集・発行 / 高浜市役所地域政策グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2

TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110

http://www.city.takahama.lg.jp/

電子メール info@city.takahama.lg.jp

表紙

伝統の技で故事を描く

5月6～8日に開催された吉浜細工人形展。宝満寺には三国志の人形が飾られ、大人の背丈よりも高い馬に跨る劉備と曹操が迫力のある姿で来場者を魅了しました。

6日には人形小路花まつりも開催され、白象のパレードや飲食ブースなど大勢の来場者がゴールデンウィーク最終日を賑やかに過ごしていました。

早期配布にご協力ください。



広報たかはまは植物油インキを使用しています。